

保証書

| | | | |
|-------|-------------|------------------------------|-------|
| 形式 | KA-800C | ※お買上げ日 | 年 月 日 |
| ※お客様様 | ふりがな お名前 | 保証期間（お買上げ日より） 本体1年 | |
| | ご住所 〒 | ※販売店名・住所・電話番号 | |
| | 電話番号 | ※本欄に押印のない場合は有効となりません。 | |

必ず販売店名欄への記入の有無をご確認ください。もし記入のない場合は直ちにご購入先に申し出て下さい。本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管して下さい。

〈無償修理規定〉

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。

※ネットオークションでお買上げいただいた場合、保証が適用されません。
※中古品・転売品・改造品は、保証が適用されません。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買上げの販売店または、直接弊社までまでお申し付けください。

次のような場合は、保証期間内でも有償修理になります。

- (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- (2) お買上げ後の落下や輸送上の故障、および損傷。
- (3) 火災、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。

- (4) 本書のご提示がない場合。
- (5) 本書に、お客様名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- (6) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
- (7) ご使用後のキズ、変色、汚れ、及び保管上の不備による損傷。
- (8) 腐食による故障および損傷。
- (9) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。
- (10) 故障の原因が本製品以外（電源など）にあってそれを点検、修理した場合。

本書は国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan)

※ 本書は、明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

長年ご愛用の製品の点検を！



愛情点検

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- その他の異常がある。

使用中止

故障や、事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店、または弊社カスタマーサポートセンターまで点検・修理をご相談ください。

輸入事業者
株式会社デバイススタイル

販売元
株式会社デバイススタイルマーケティング

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番10号 ストリーム市ヶ谷902号

部品番号:KA-800C-ID-100

deviceSTYLE

取扱説明書

保証書付き



KA-800C

温度計付き電気ケトル

CONTENT

| | | | |
|-----------------|---|------------------|----|
| はじめに・・・・・・・・・・ | 2 | 温度計の見方・・・・・・・・・・ | 8 |
| 安全上のご注意・・・・・・・・ | 3 | お手入れの方法・・・・・・・・ | 9 |
| 使用上のご注意・・・・・・・・ | 5 | 故障かなと思ったら・・・・・ | 10 |
| パッケージ内容・・・・・・・・ | 6 | 主な仕様・・・・・・・・・・ | 11 |
| 使い方・・・・・・・・・・ | 7 | | |

- お買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

はじめに

主な特長

早い湯沸かし時間

強力なヒーターで素早く沸かすことができます。

便利な温度計

沸騰後、お湯の温度を確認することができます。

例えばコーヒーを85℃で淹れたい場合、沸騰後温度計が85℃になるのを確認してから淹れることができます。

※温度の調整はできません。

※蓋の裏についている温度検針部が細くなっています。危険ですので取り扱いに注意してください。

便利な細い注ぎ口

注ぎ口が細く、注ぐ際ケトルの傾きを変えることで湯量の調整がしやすくなっています。

《本製品に関するお問い合わせ》

デバイススタイルカスタマーサポートセンター

email : customer.support@devicestyle.co.jp

URL : <http://www.devicestyle.co.jp/>

お問い合わせは弊社ホームページの「お問い合わせフォーム」が便利です。

受付時間: 月曜～金曜9時30分から17時30分(土日、祝日及び年末年始、夏季休暇を除きます。)

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●本製品は家庭用です。業務用または一般家庭用以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。



警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。



注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければならない「指示」内容です。



警告

電源・コード



指示

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する

ほかの機械と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。
●延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。



指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
●傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



指示

使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うとショートや発火するおそれがあります。弊社のお客様相談センターまでご相談ください。



指示

ケトルのフタを逆さまに置かない
フタ裏側には温度測定用の突起棒があるためフタを逆さまに置いたり、フタで遊んだりしないで下さい。



禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。



指示

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止

電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

安全上のご注意

お取り扱い

| | |
|--|--|
| <p>分解禁止</p> <p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しない</p> <p>発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。</p> | <p>禁止</p> <p>ケトル本体の底部や電源プレートを水につけたり、水に濡らしたりしない</p> <p>ショートしたり・感電するおそれがあります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>湯沸かし中は、ふたを開けたまま使用しない</p> <p>湯沸かし中は、確実にふたを閉めてください。湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。</p> | <p>禁止</p> <p>直火(ガス台など)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せない</p> <p>火災の原因になります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>ふたを持ってケトル本体を移動しない</p> <p>湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。</p> | <p>禁止</p> <p>子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない</p> <p>やけど・感電・けがをするおそれがあります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>注ぎ口をふきんなどでふさがない</p> <p>湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。</p> | <p>禁止</p> <p>MAX(満水)メモリ以上の水を入れない</p> <p>やけど・感電・けがをするおそれがあります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>ケトルを傾けたり、ゆすったりしない</p> <p>湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。</p> | <p>禁止</p> <p>ケトルを転倒させない</p> <p>湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。</p> |



注意

電源・コード

| | |
|---|--|
| <p>指示</p> <p>使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p> | <p>指示</p> <p>電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く</p> <p>感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。</p> |
|---|--|

お取り扱い

| | |
|---|--|
| <p>分解禁止</p> <p>不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く(カーテンの近くなど)では使わない</p> <p>火災の原因になります</p> | <p>禁止</p> <p>電源プレート中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだり、ゴミを付着させない</p> <p>感電、ショート、発火の原因になります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>専用の電源プレート以外は使わない。また、付属の電源プレートを他の機器に転用しない</p> <p>発火、故障の原因になります。</p> | <p>禁止</p> <p>ストーブやガスコンロなどの熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない</p> <p>本体のプラスチック部分が熱で損傷するおそれがあります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>沸かし中は、移動させない</p> <p>湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。</p> | <p>指示</p> <p>コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、コードをひっかけないように気をつける</p> <p>本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>湯沸かし中または湯沸かし直後はふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしない</p> <p>注ぎ口などから熱い蒸気が出て、やけどをするおそれがあります。</p> | <p>禁止</p> <p>壁や家具の近くで使わない</p> <p>蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>牛乳を沸かす、紅茶を煮だす、スープを作るなど、湯沸かし以外の目的で使用しない</p> <p>ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。</p> | <p>禁止</p> <p>瓶やカップなど、水以外のものをケトルの中に入れてはいけない</p> <p>ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。</p> |

使用上のご注意

- ケトルに水が入っていないときは、スイッチをオンにしない
故障の原因になります。
- ふたを開けた状態では、お湯を沸かさない
本製品は、ふたを閉めた状態で湯を沸かす仕様になっています。
- 本製品に保温機能はついていません
- 本製品は一般家庭用です
- 本製品は必ず屋内で使用してください

パッケージ内容



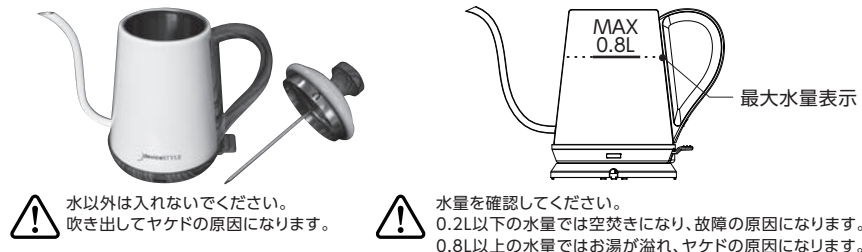
各部の名前



使い方

※初めてご使用される際は、注ぎ口のキャップを外し本体内部をすすいでからご使用ください。

1. フタを外し、本体に水(0.2L~0.8L)を入れる。

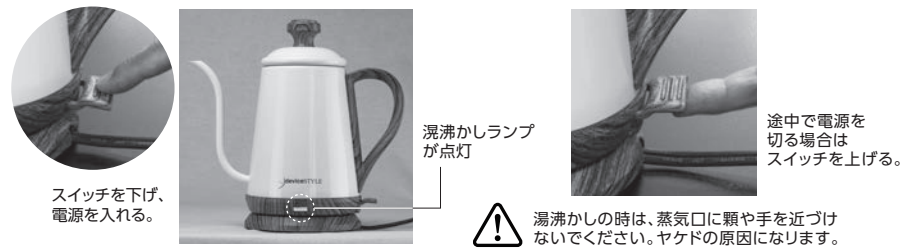


2. フタを閉め、本体を電源ベースにセットし、電源プラグをコンセントに差し込む。



3. スイッチを下げ、電源を入れる。(混沸かしランプが点灯し、濡沸かしを開始します。)

混沸かしが完了すると、自動で電源が切れ、濡沸かしランプが消灯します。途中で電源を切るときは、スイッチを上げるか、本体を持ち上げて電源ベースから離します。



4. お湯を注ぐ。



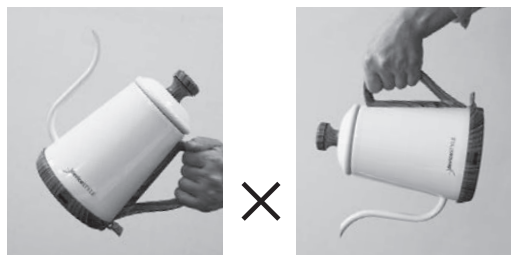
温度計の見方



- 最適温度の目安
- 紅茶・・・95℃前後
- コーヒー・・・85-90℃程度
- 玄米茶・ほうじ茶・・・95℃前後
- 煎茶・・・85℃前後
- 上煎茶・・・70℃前後
- 玉露・・・60℃前後

※上記は一例です。

■使用上のご注意

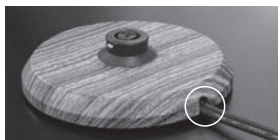


本体を傾けすぎないでください。
スイッチ部や、蒸気口からお湯が漏れ、ヤケドの原因
になります。

■電源コードホルダーの使い方



電源コードは電源ベース裏の電源コードホルダーに収納
することができます。ご使用の際は適切な長さに調節し、
ご使用ください。

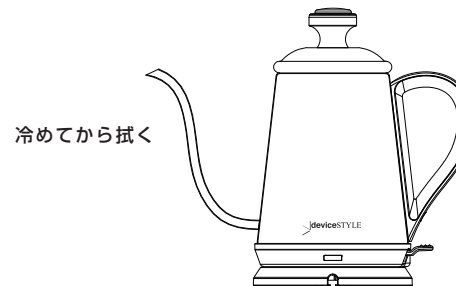


電源ベースを使用の際は、必ず電源コードをコード引き出し口から
出し、平らな安定した場所でお使いください。

お手入れの方法

長期間清潔にご使用いただくためには、定期的にお手入れをしてください。

本体外側のお手入れ



本体が冷めるのを待ち、やわらかい布で拭い
てください。
がんだ汚れには、ぬらした布に中性洗剤を
含ませて擦り、拭き取ってください。



注意

- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
- ケトル本体と電源プレートの水に浸けることは絶対におやめください。故障の原因になります。
- 磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり変色したりするおそれがあります。

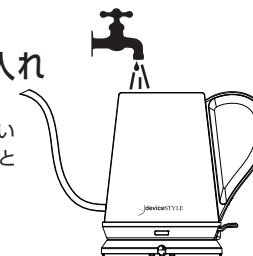
本体内側のお手入れ

内側に汚れが目立ってきたら、定期的にお手入れを
してください。

なお、本体内側の汚れ(白い浮遊物、虹色などの変
色、白いはん点、赤さび状のはん点など)は、水に本
来含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛
生上問題ありませんので、ご安心ください。

■ 通常のお手入れ

水でよくすすいだ後、乾い
たふきんなどでしっかりと
拭いてください。



汚れが落ちにくい場合クエン酸を使って

- 1.水をMAX(満水)まで入れ、その中にクエン酸(15g程度)を入れて、かき混ぜます。
- 2.ふたを閉めて沸とうさせ、その後、約1時間放置します。
- 3.お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
- 4.クエン酸のおいが気になるようでしたら、水だけを入れて、再度通常どおり沸とうさせ、お湯を捨ててください。



注意

内側底部のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、ステンレス
部分は強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

故障かなと思ったら

| こんなときは | 原因 | 対処方法 |
|----------------------------------|---|--------------------------------------|
| ケトルが作動しない、 又は沸とう前に止まっ てしまう | コンセントにプラグが入っていない。 | 電源プレートのプラグを確実にコンセントに差しこんでください。 |
| | 沸とう直後は、電源を自動的に切るためのセンサーが熱くなっているため、電源スイッチが入らないことがある。 | センサーから冷めるまでしばらく待ってから、電源スイッチを入れてください。 |
| | 空だきしたため、安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れた。 | ケトル本体を電源プレートからはずし、熱を冷ましてから水を入れてください。 |
| 水が漏れる・ふき出す | MAX(満水)目盛より多くの水が入っている。 | 水量をMAX(満水)目盛以下に減らしてください。 |
| | 水以外の飲料が入っている。 | 水以外は沸かささないでください。 |

主な仕様

| | | |
|-------------|----------|--------------------|
| 定 格 電 圧 | AC100V | |
| 消 費 電 力 | 1200W | |
| 最 大 容 量 | 0.8L | |
| コ ー ド の 長 さ | 0.7m | |
| 外 形 寸 法 | 本体のみ | 幅135×奥行255×高さ228mm |
| | 電源プレート含む | 幅135×奥行255×高さ250mm |
| 質 量 | 本体のみ | 570g |
| | 電源プレート含む | 720g |

●特定地域(高い山・寒冷地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさげください。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書(本書裏表紙)は必ず「販売店名、お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、お買い上げのレシートとともに大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。(製造完了から5年以上経過している場合は修理出来ない事があります。)

修理を依頼される時

保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。保証期間外でも、修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償にて修理いたします。

ご不明な場合は アフターサービスについてご不明な場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は修理やご相談への回答にのみ利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

<ご注意> 保証期間中であっても機械の取扱い不備、改造、加工、仕様変更、いたずら、消耗品の交換などの修理の場合は有料となりますのでご注意ください。

デバイススタイルカスタマーサポートセンター

電話 0570-067788

email : customer.support@devicestyle.co.jp

URL : http://www.devicestyle.co.jp/

お問い合わせは弊社ホームページの「お問い合わせフォーム」が便利です。

受付時間：月曜～金曜9時30分～17時30分(土日、祝日及び年末年始、夏季休暇を除きます。)